

がん化学療法レジメン登録票

新規レジメン登録の際にはプロトコールの提出が必須です
プロトコールがない場合は参考文献を提出してください

レジメン名	PE
診療科名	腫瘍内科
診療科責任者名	大山 優
適応がん種	胸腺腫
保険適応外の使用	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無

がん治療ワーキンググループ使用欄	
登録番号	Th-003
登録日・更新日	2019年10月29日
削除日	
出典	Journal of Clinical Oncology, Vol 14, No 3 (March), 1996: pp 814-820
入力者	小倉 宏之

投与順に記入(抗がん剤のみ)

	薬剤名:一般名 (薬剤名:商品名)	規格	投与量算出式	投与経路	投与時間	施行日
	希釈液					
No.1	シスプラチン (シスプラチン注)	10mg, 50mg	60mg/m2	□IV ■DIV □CVポート □側管 □その他()	2時間	day1
	生理食塩液	500mL				
No.2	エトポシド (エトポシド点滴静注液)	100mg	120mg/m2	□IV ■DIV □CVポート □側管 □その他()	90分	day1~3
	生理食塩液	750mL				

1コースの期間	21日間
投与間隔の短縮規定	<input type="checkbox"/> 短縮可能(日) ・ <input checked="" type="checkbox"/> 短縮不可能
計算後の投与量上限値	110%
計算後の投与量下限値	50%

減量・中止基準	<p>【延期基準】 好中球数 <1500 / μL 血小板数 <75,000 / μL ヘモグロビン値 <8.0 g/dL</p> <p>【減量基準】 白血球数減少 Grade 3(GTCAEv5.0) または 血小板数減少 Grade 2 であった場合: 次サイクルを75%に減量 白血球数減少 Grade 4 または 血小板数減少 Grade 3であった場合: 次サイクルを50%に減量</p> <p>※SCr > 1.5mg/dLが2週間以上続く場合、次サイクルのシスプラチンを50%に減量</p>
前投薬	アプレピタント + 5-HT3受容体拮抗薬 + デキサメタゾン
その他の注意事項	・シスプラチンのハイドレーションは当院の標準化に従う。

記入者	小倉 宏之
確認者	池 成基